

## シロハラトウゾクカモメ 甲子園浜で初確認・保護！？ 向山 裕子

2016年4月7日、前線を伴った低気圧が日本海を北東に進み、九州から北海道まで広く雨が降っていた。

12時頃、海水調査のお手伝いをするために甲子園浜へ出かけると、雨は止んでいたが、台風並の風が吹き荒れていた。1羽のカワウは、必死に羽ばたくが強風であつという間に100メートル位飛ばされていく。神戸空港のアメダスでは12時時点で、南南西の風、風速は18.4m/sと記録されていた。



海水調査の後の帰り道、浜大通りを横切するために左右確認をした。目先50メートル向こうの車道に黒いハンドバッグらしい物が落ちている。近づいてみると見たこともない鳥。くちばし辺りに出血、

横たわっていた。生きてるか、死んでいるか判らない。西宮市立甲子園浜自然環境センターへ搬入した。しばらくして、奇跡的に目を覚まして自力で立ち上がった。この鳥が、シロハラトウゾクカモメという内陸部ではほとんど確認されていない大変珍しい鳥でした。

シロハラトウゾクカモメは、けがをしていたので、こうろえん動物病院で受診。頭部強打脳挫傷とい



うことで入院した。カテーテル使用で強制給餌したが4日後死亡した。

その後、大阪のバードレスキューを経て、高槻市立自然博物館あくあびあ芥川に運ばれ、鳥剥団(とりむきだん)の学芸員によって、剥製にされ保管されている。

体重	164g	全長	53.5cm
性別	雄(精巢あり)	翼	31.3cm
くち	2.73cm(露出嘴峰長)		
足付	4.29cm	足	水かき
尾長	31.1cm	翼開長	92.0cm
(上記計測資料は、高槻市立自然博物館より)			



シロハラトウゾクカモメの背中は黒っぽく、白い腹をしている。くちばしの先端がかぎ型で、尾羽の中央が燕尾服のように分かれて長い。大きいツバメのような鳥。海洋上で生活し、他の海鳥の食べ物を横取りするところからこの名前がついたそうだ。春に、南半球洋上の越冬地から北極海沿いのユーラシア大陸や北アメリカの繁殖地へ渡る途中日本沖合を通過する。

このシロハラトウゾクカモメは、繁殖地に戻る時に悪天候に巻き込まれ、悪しくも仲間からはぐれ、内陸部にまで流されてきて交通事故に遭ったのだろう。ネット検索したが、兵庫県での投稿がなかった。初確認・保護！？

# はまん婆のひとりごと

## アサリ復活

向山さんのお手柄！！2月21日クラゲ観察に行った時に、もしやと思い柄杓で掘ったらアサリがなんと7個体出てきた。ラッキー！うれしい！とメールが送られてきた。

甲子園浜では昨年4月は久しぶりにアサリ掘りで賑わっていたが6月下旬7月上旬の赤潮で死んでしまった。夏休みの「生物学集会」10月初めの南甲子園小学校による「環境学集会」でも絶滅したままだった。

〈センター西側沖にて採集撮影：向山裕子→



それが約5ヶ月後に復活が確認されたのだ。もう絶滅という悲しいことは起こってほしくない。赤潮、青潮などの原因が解明されているので問題解決の対策をお金がかかるがお願いしたい。 東山 直美

〈3月8日芦屋市で採取したアサリから貝毒が検出され、甲子園浜のアサリなど二枚貝を採って食べないよう県が要請〉

### 活動報告

2月4日 冬の鳥観察会 杉田義彦講師 37名  
観察できた鳥：ユリカモメ、セグロカモメ、オナガガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、コガモ、ハシビロガモ、ホオジロガモ、オカヨシガモ、マガモ、ハジロカイヅブリ、オオバン、ハクセキレイ、カワウ、アオサギ、トビ、ミサゴ

ミサゴが空中からダイブして魚を捕らえ、それを横取りしようとカモメがまとわりつくのを目撃しました。



ボラをつかんで飛ぶミサゴの後ろからセグロカモメが追いかけている  
撮影：岩崎博子さん

2月15日 海の再生全国会議

ポスターとチラシを展示しました

2月21日 EWC展 向山裕子さん「甲子園浜に出現したクラゲたち」が青年会議所賞を受賞

2月24日 大阪湾フォーラム

### 活動予定

3月25日(日) 海浜清掃

4月1日(日) 浜甲子園特別鳥獣保護区フェンス設置

4月29日(日) 通常総会、シギチドリ観察会

5月26日(土) 第11回大阪湾生き物一斉調査

### 今年は浜甲子園特別鳥獣保護区指定40年

昭和53年(1978)11月1日、環境省(当時は環境庁)により集団渡来地として鳥獣保護区・特別保護地区に指定されました。

### 甲子園浜の歴史 おさらい

1965 甲子園浜、香櫛園浜遊泳禁止

1970 芦屋、西宮、尼崎など7漁協が埋立に合意

1971 住民、甲子園浜埋立計画を市政ニュースで知る  
南甲子園小学校 PTA 甲子園浜埋立公害に反対表明

1975 「甲子園浜の埋立を考える会」発足

1976 「考える会」西宮市庁舎で座り込み

1977 西宮・甲子園浜埋立公害訴訟団「港湾計画の変更」を求め提訴(原告団2004名、弁護団16名)

1982 埋立訴訟和解成立 埋立面積157畝→80畝

「甲子園地区埋立事業対策協議会」発足

2004 NPO法人海浜の自然環境を守る会設立

編集後記：シロハラトウゾクカモメの保護から剥製となるまでを追った向山さんの力作いかがでしたでしょうか。甲子園浜の写真や思いを記した作品をお寄せください(岸川)